

Message

第 23 号

2017. 12. 22

＝メッセージ＝

島根県立島根中央高等学校
島根中央高等学校PTA広報委員会

変わるもの、変わらないもの

島根県立島根中央高等学校

PTA副会長 坂根尚美



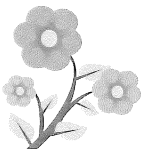
昨年4月に長男が島根中央高校に入学しました。同じ校舎で3年間

学んだ自分としては、学校のことは何でもわかっていて、息子から学校生活の話の聞いたり学校へ足を運んだりするうちに、変わらないのは校舎だけで、中身は全く別の学校なんだなと、ようやく感じ始めました。

その一つに、PTA活動の活発さ、学校と保護者の距離の近さがあります。今年度は副会長として、より密接に学校に関わる機会を頂いていますが、これが驚きの連続。初めての役員会に出席した時は「こんなに熱く意見を交わすんだ！」とその雰囲気圧倒されたことを覚えています。また、学園祭でのPTAバザーや環境美化の奉仕作業には、遠方からも多くの方が参加されることに感動しました。

ついでです。きつと彼らの高校生活の思い出の片隅には、その姿が刻まれているに違いありません。そして数年後、今度は保護者として母校に関わり「自分が高校生の頃は…」と思いついていながら汗を流す日がくるかもしれない。そんなふうで考えると、人のつながりや時間のつながりで築き上げられていく島根中央高校の伝統が誇らしくなりません。

地域や保護者と密接につながることで存在意義を高め、生徒にとっても保護者にとってもまた地域にとっても魅力的な学校であることを目指しているのが島根中央高校だと思えます。時代と共に学校の在り方は変わっても、親として子や孫が思っているように変わらぬものがある。子ども達も島根中央高校で過ごす3年間、悔いが残らないよう精一杯自分と向き合ってもらいたいのです。また地域や人とのつながりの中で互いに高め合ってもらいたいのです。そのために、PTA活動を通してみんなで力を合わせ、子ども達と学校をしっかりと支えていけたらと思います。



創立10周年に寄せて

島根県立島根中央高等学校

教頭 立石祥美



創立10周年記念式典が盛会に終了しました。島根中央高校が多く

の方々を支えられていること、すてきな生徒がこんなにもたくさんいる学校であることを、しみじみと噛み締めた一日になりました。

現在も引き続き、予想を超える多くのご寄付を卒業生や保護者、地域の方々からお寄せいただいています。皆様が生徒に送ってくださる温かいお気持ちに、心から感謝申し上げます。

島根中央高校は、大正13年に開校した「島根県立川本養蚕学校」から始まりました。当時養蚕は主要成長産業で、県としての人材育成が求められていたようです。(今でいえば「IT学校」とか?) 県内全域から1、2年生80名弱が集まり、校長含む4名の教員でスタートしたとのこと。それから93年、幾度かの校名変更、分校独立や統合などを経て、総卒業生は1万8千人を超えます。

このうち、島根中央高校1期生から8期生が611名、あと数か月すれば、9期生74名が卒業生として加わるようになります。県内大規模校の在籍生徒数

にも満たない数ですが、島根中央高校の生徒には、どこの生徒にも負けない資質と志があり、人間関係の濃度や体験の密度、個々に当たる照度の高さなど、多様な個性の中での濃密な高校生活があります。生徒たちはこの環境の中で、数多くの知識や経験、様々な葛藤や試練を得て、人としての成長を日々遂げ、進化しています。

かつてこの地域で基幹産業であった養蚕業は、現在ではほとんど見られません。40年ほど前までは我が家の近所にも養蚕所があり、母や近所のおばちゃんたちが勤めに行っていたなあ・・・と思いつつ、私の体験も「歴史」と呼ばれるものになっていくのを感じます。

江の川沿いの畑で見かける桑の木は、以前は養蚕に使われていたのですが、現在ではお茶やジャム、健康食品に活用されるようになっていきました。歴史は変わり、続いていきます。

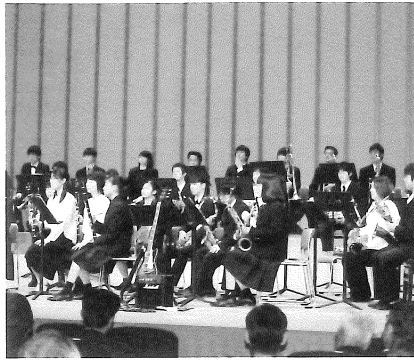
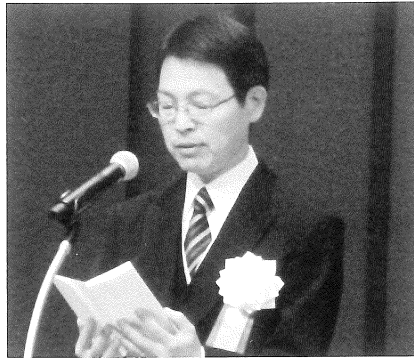
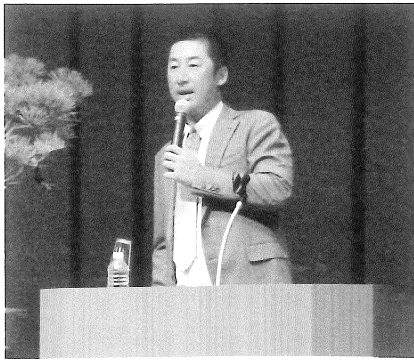
学校も、生徒がいる限り生まれ変わり育って行きます。この一日、いまこの時を全力で過ごしている生徒一人ひとりの存在の重みを、改めて感じています。



島根中央高等学校 創立10周年記念式

11月19日(日) 島根中央高等学校創立10周年記念式典が悠邑ふるさと会館大ホールで開催されました。木原和典校長の式辞、三宅実川本町長の祝辞等が続いて南木かおり生徒会長が「地域とのつながりが我々の成長の原動力であり、今後も挑戦する気持ちは持ち続け島根中央高校の新しい歴史を作っていきます。」と力強く決意を語りました。

記念式典に続いて開かれた記念講演では、講師の今岡誠さんが「気持ちの大切さ」を語られ、記念演奏会では島根中央高校吹奏楽部と悠邑ふるさと吹奏楽団との合同演奏が披露されました。



PTA活動報告

全国高等学校PTA連合会大会 静岡大会に参加して

PTA会長

左野 晃

8月に静岡県で開催された全国高等学校PTA連合会大会静岡大会「有徳の人」づくり未来のために行動する「一人」を育てよう」に参加させていただきました。

「有徳の人」とは、個人として自立した人、人との関わり合いを大切に人、より良い社会づくりを参画し、行動する人という意味、現在静岡県で進められている「人づくり」のテーマです。

静岡県浜松市が舞台となる、NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」が放送中であると言うこともあり、基調講演では、直虎をはじめとするNHK大河ドラマや、様々な映画などの時代考証を手がけてこられた、静岡大学名誉教授小和田哲男氏が「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」と題して、時代考証から見た、番組作りの様々な裏話を交え、戦国武将の子育てを語っていただきました。

分科会は、第2分科会、進路指導とPTA「有徳の人」を育てる希望進路の実現」に参加させていただきます。

進路指導というPTA活動とあまり縁がないような感じもありますが、各学校が取り組んでおられるものは、既に島根中央高校で取り組んでいるものも多くあり、これまで築いて

きていただいた活動の素晴らしさを知る事も出来ました。その上で、他校の取り組みを取り入れれば、もっと良いものになると感じたり、学校や後援会などの活動も協力して取り組み、より良いものになることに気づかされたりました。

最終日の記念講演では、静岡県出身で、演劇や舞台、ドラマなど多方面で活躍する寛利夫氏が「寛利夫これがオレの生きざマだ」と題し、これまでの人生の生きざマを面白おかしく語っていただきました。

猛暑の中での大会でしたが、開催中である静岡県の皆様に心温まる歓迎をいただき、大変印象に残る大会となりました。2020年にはこの大会を島根県が引き受けることになっています。島根の良さや島根の取り組みの素晴らしさを伝えられる大会になれば良いと思います。



第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 山口大会に参加して

PTA副会長

佐藤 龍美

7月14日に山口県の海峡メッセ下関を会場に開催された

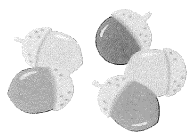
第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会山口大会に参加させていただきました。約千七百人の参加があり、「育て、生きるチカラ! PTAは子どもの応援団。今、変革の時。」をテーマに行われた大会でした。

講演では、文部科学省初等中等教育局財務課長の伊藤学司氏より「これからの高校教育とPTAの役割」と題して話があり、研究協議では、島根県立矢上高等学校、香川県立高瀬高等学校、山口県公立高等学校PTA連合会の取り組みの発表がありました。

大会を通して感じたことは、2020年には学習指導要領の改訂や大学入試改革などが予定されており、これから教育環境は大きく変化し、少子高齢化や人口減少の問題もある中で、人材育成のため新たな準備が必要ではないかということでした。

これから島根中央高校でもさらに学力の向上ができる環境を整え、難関大学進学をめざせるよう、学校、保護者、地域が一体となつて支援していくことが大切だと思えました。また、さまざまな活動でも希望が持てるよう、魅力ある学校作りにも少しでも協力できたらと思います。

昨年に引き続き、中国・四国大会に参加させていただきました。ありがとうございました。



学園祭バザーに参加して

岡田友枝



夏休みが明けて10日後の9月1日から3日まで行われた学園祭で、PTAのバザーに初めて参加させていただきました。
バザー前日の夕方から、男性陣は屋外の設営準備、女性陣は野菜を切ったりお米を炊飯器にセットしたりと1時間ほどで済ませます。

そして当日、この日は晴天に恵まれました。調理室で下準備をして、券売から引渡しまで、それぞれの持ち場になんとなくついて販売開始です。

私は焼きそばの引渡しを担当しました。野菜たつぷりで山盛りの焼きそばが、焼いても焼いても追いつかないほどのペースで生徒や地域の方にどんどん売れていきます。途中で割り箸が足りなくなるといふ不測の事態に、私は何度も「割り箸がない」と、叫んでいました。先生に買った



てきてもらい渡せましたが本当に焦りました。
焼きそば・フランクフルト・おにぎり・冷やしうどんはすべて完売し、バザーも終了。楽しい時間はあっという間に終わります。一緒に参加した皆様、お疲れ様でした。特に200食の焼きそばを焼き続けてくださいました二人のお父さん、大変お疲れ様でした。
バザーに参加して、普段交流のない保護者さんといろんな話をしたり、バザー終了後に生徒徒以上にキヤーカー騒いだり、我が子の学校生活が見られて、とても楽しく充実した時間を過ごすことが出来ました。
今年はおもう一つ楽しみにしていた餅つきがなくて残念でしたが、来年も参加して皆様と一緒にPTA活動を盛り上げていきたいと思えます。

平成29年度 島根中央高校PTA 学園祭バザー 会計報告

【収入】

学園祭バザー売上金額			
科目	内容	金額	摘要
売上	お茶・ジュース類	16,700	@100円*167本
売上	冷やしうどん	24,000	@200円*120食
売上	フランクフルト	20,000	@100円*200本
売上	焼きそば	60,000	@300円*200食 寮生76人
売上	おにぎり	14,900	@100円*149食 寮生76人
学園祭バザー収入合計		135,600	

【支出】

学園祭バザーに関する支出明細			
学園祭バザー			
領収書番号	内容	金額	摘要(支出先)
①	フードパック・どんぶり他	8,524	サンマリーノ(オンライン)
②	お好み焼き・焼きそば・豚肉他	38,982	業務用スーパー
③	流水麺(うどん)	11,520	イワ大田店
④	お茶・ジュース類	14,358	トライアル
⑤	野菜・おにぎり(まげご飯の素)	15,854	すまいる
⑥	お買い物袋・割り箸 他	1,473	トライアル
⑦	消毒液	321	カザン川本店
⑧	茶菓子・お茶・コーヒー	1,551	ウェルネス
⑨	ゴム手袋他	1,030	ドンジャート川本店
⑩	割り箸	816	A-coop川本店
⑪	プロパンガス	1,944	沖野商店
⑫	焼きそば鉄板の感謝礼	1,500	お父さんの料理教室朝比奈さんへ
⑬	ジュース冷却用氷	1,600	生徒部購入分のうち1個
⑭	米(コシヒカリ12kg)	3,000	左田野
学園祭バザー支出小計		102,473	

学園祭バザー 収益金	33,127
------------	--------

学園祭バザーその他支出			
領収書番号	内容	金額	摘要(支出先)
学園祭バザー その他支出計		0	

前年度繰越金	158,696	
バザー収益金	33,127	
バザー用品購入		
島根中央高校生徒会へ	-34,000	
預金利息		
繰越金	157,823	通帳残金

美郷夏祭りパトロールに参加して

菅原真吾

今年度も生活指導委員会の年間活動の一環として、夏休み中、地域の夏祭りパトロールに参加しました。

この活動は、夏祭りという地域行事への参加を通して、子供たちの地域社会への関わり方をPTAとして支援し、見守ることを目的として行っています。

夏祭りパトロールは、昨年度と同様、美郷町の「美郷夏祭り花火大会」7月22日土曜日のメイン会場を中心にパトロールし

ました。当日は数名の保護者と教職員の参加があり、好天にも恵まれて、会場は多くの人出で賑わいました。パトロール中は、島根中央高校生や卒業生、保護者の方、多くの地域のみなさんと気持ちよい挨拶をかわすことができました。また、地元で夏祭りに参加し、懐かしい友達などと再会し笑顔で話す子供たちを垣間見ることができたことが一番の収穫でした。



当日にご協力頂いた保護者と教職員の皆さま大変お疲れさまでした。ありがとうございます。

地区PTTA

今年は地区PTTAが県内外の五地区(桜江、美郷、川本、大阪、東京)で開催されました。

桜江地区

地区PTTAに参加して

奥田 祥子

桜江であった地区PTTAに参加させていただきました。校長先生をはじめ教頭先生たくさんの方々が来てくださっていました。自己紹介の後、子供達の学校での様子、進学就職についての事、三江線が廃止になった後の通学バスの事など話を聞くことができました。町からの支援が通学バスだけでなく、県外生や勉強面でのサポートなどいろいろあるそうで驚きました。後半は現中学生の保護者さんが加わり、顔なじみという事もあり和気あいあいと話をしました。子供達が楽しく高校生活を送っている事を伝えられて良いPRができたと思います。この地区懇談会に参加して、子供達が先生方や川本町、町民の方々に大変支援してもらい学校生活を送っていることがよく分かり、またそんな島根中央高校に通わせていただいている、とてもありがたく感じま

した。なかなかこういう機会もないので、出来るだけ声かけしたくさんの保護者の皆さんに参加してもらえらる様にしたと思います。

大阪会場

関西地区PTTAに参加して

宮部 典子

9月23日、学校・役場・PTTA関係者8名が川本町から来られ、関西地区の保護者13名が参加し、新大阪丸ビル別館において関西地区PTTAが初めて開催されました。

初めに挨拶があり、続いて学園祭の動画を見ながら、学校の近況報告を聞きました。サブライズで子ども達からのビデオレターも流され、面と向かっては言いにくい親への感謝の言葉に、思わず涙ぐむ保護者もいました。

『可愛い子だから旅をさせている』同じ立場で共通した心情の保護者の集いですので、その後の分散交流では、日頃感じている事や心配・疑問等の情報交換が出来て、大変有意義な時間でした。多方面からの情報は、学校や子どもをより知る手立てに繋がると思いますが、今後ともそれぞれの地区PTTAの機会を旺盛に持ち、そこに多くの人が集い、大いに語り合える場にしていきたいです。

最後、場所を変えての懇親会では、更にぎつくばらんな交流で盛り上がり、とても楽しく和やかなPTTA集会になりました。

宮部さんの作ってくださった学校PR用スケッチブックです

かわい子には旅をさせろ
島根へ送り出して 本当に良かった!

この3年間は、子どものこれからの人生に、役に立つ自信を持って、先、何十年という人生の中で、役に立つ人生の糧にならねばなりません。

その積み重ねの3年間で心身ともに成長につながります

島根留学
New 選択肢のひとつ

つなごう?

全国大会に参加して

カヌー部

カヌー部で学んだ事

中西 諒磨

私は、カヌーをするために、島根中央高校に入学しました。カヌーは初心者でしたが、多くのカヌー指導者に恵まれて、3年の春には、海外派遣選手選考最終記録会に出場できるまでに実力をつけることができました。ただ、全国大会の壁は想像以上に厚く、本番で力を発揮できずに悔しい思いを何度もしてきました。精神力の弱さを克服するために、必死に練習しました。

10月の愛媛国体は、カヤックフォアの500mと200mに出場しました。四人で漕ぐ競技です。私は艇の先頭でみんなを引っ張る役割でした。なかなか四人の息が合わず、自分のフォームも安定せず、どうすれば良いかわからなくなり、悩んだ時期もありました。それでも最後には仲間を信じて漕ぐ事ができました。そして、やっと8位入賞することができました。入賞できてホッとした半面、このメンバーでもっと上位に入りたかったという悔しさが残りました。

私は、カヌーを通して、私自身の人間性を高めることができたと思っています。当たり前

だけ大切なこと。「親に感謝すること」「人を思いやること」「強い意志を持って地道に努力すれば自分の道が開かれる」ということを、堀田先生に教えていただき、人としてあるべき姿を学びました。

お世話になった先生方、共につらく過酷な練習を乗り越えてきた仲間たち、カヌー部保護者会、後援会の皆様、そして川本町をはじめとする地元の皆様、ありがとうございました。応援してくださいました。分力カヌーに打ち込む事ができました。

これからは、3年間で学んだことを糧として、大学でもカヌーを頑張り、後輩の目標となるように努力していきたいと思えます。

感謝

カヌー部保護者
中西 和絵

「お前たち、島中の歴史に名を刻んだな」10月4日の夜、愛媛国体での入賞を果たし川西寮に帰り着いた選手たちを、カヌー部の寮生が玄関から飛び出して来てひと塊になつて抱き合い、涙ながらに仲間の健闘を称えてくれました。こんなに心が熱くなる光景は今

までに見たことが無く、心底感激しました。私は、保護者としてカヌー部に関わらせて頂き、とても仕合わせな3年間を過ごすことができました。

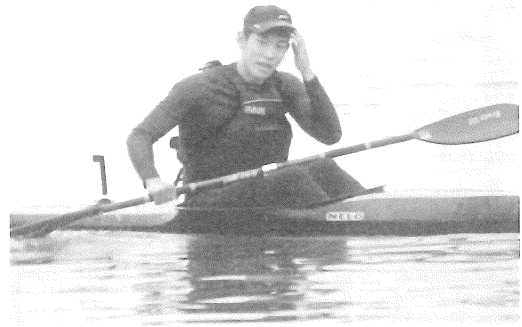
カヌー部は、部員の数こそ多くはありませんが、みんなとても仲が良く、いつも一生懸命練習に励んでいました。私は、彼らの頑張る姿を見るのが好きで、時々美郷町の練習場へ見に行きました。何度艇が転覆してもまた艇に乗り、漕ぎ出す1年生。ただただ速くなりたい一心で顧問の堀田先生の指導を受ける2、3年生の真剣な眼差し。私は、こんなにも純粋に一つのことに打ち込んでいる彼らが大好きで、精一杯応援しました。

インターハイと国体は、選ばれた選手しか出場できませんでしたが、引退した同級生も練習に来て、沢山のサポートをしてくれました。『日本一になる』という目標を掲げ、みんな邁進した日々でした。部員の誰もがカヌーが好きで、顧問の先生を心から敬愛していることがよくわかりました。

『意志あるところに道は開ける』と、どんな時も信念をもって努力すれば必ず道は開かれるというのを、自らの生き方をもっと示してくださいと堀田先生、ありがとうございます。『あせらずあわてずあきらめず』という精神を教えてくださいました。いつも笑顔で支えてくださった奥野先生、土田先生、小林先生、外部コーチの先生方、ありがとうございます。

正味2年しかない部活動の

中で、彼らは、心と技でかけがえの無い教えを学びました。感謝申し上げます。



吹奏楽部

高木 勇樹

今年度も日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場しました。今年は予選審査に出ず録音の演奏が良くなかったため、予選を突破出来るかとても不安でした。自分たちの代が連続出場を断ち切ってしまうというプレッシャーがありました。発表を見て、予選突破した事を知ったときは本当に嬉しかったです。

大会当日まで3年生は一週間に1回合奏をするというペースでやっており、思うように楽器が吹けませんでした。それでも今年の自由曲「アークエッジエル」では、金管楽器がすごく鳴らしたり、逆に教会の音楽のように静かで綺麗な演奏をするなど難しい部分もありました。自分自身もソロがあり

り、不安や緊張が込み上げたのですが舞台でしっかり吹けたので良かったです。

3年間一緒に部活をしてくれた3年生と、最後まで指導してくださった原田先生。外部コーチとして指導に来てくださった鈴木先生にはとても感謝しています。そして、いつもイベントや大会にも欠かさず来てくれた母。技術的なことなどいつも相談にのってくれた父。応援してくれた妹。地域の方々にもとても感謝しています。本当にありがとうございます。

最後に、これからも島根中央高校吹奏楽部への応援をよろしく願います。



吹奏楽部保護者

高木 己希雄

9月下旬、5年連続がかかっている日本管楽合奏コンテスト全国大会の出場校発表が近づくなか、家族そろって落ち着かない日々が続いていました。5年連続というプレッシャーから息子は弱気な発言ばかり

で、家族の不安をいっそう煽ります。それでも今まで頑張ってきた全てを信じて待ち続けた結果、今年も東京都文京区の文京シビックホールへ追っかけてさせて貰える事が決まり、安堵と同時に部活へ殆ど参加してないのに今年の難曲をちゃんと吹けるのだろうかという新たな不安が頭をよぎります。

機会があれば家でも楽器を吹かせ、なるべくベストな状態で東京へ行くように家族で支えつつ迎えた全国大会本番。これが本場に最後の大会で、とうとう引退してしまうんだなと、客席で演奏を待つ間に中学校から始めた吹奏楽部6年間の思い出が走馬燈のように駆け巡りました。結果的に最優秀賞は逃しましたが、本人にとってはベストの演奏が出来たように、演奏後の写真撮影で誇らしげに私の方を見たときは嬉しくて涙が我慢できませんでした。

偶然か必然か、両親が吹いているホルンに選ばれたが為に今まで辛く苦しい事もあつたらうと思えます。それでも音楽を続けられる、続けたいくなる環境を作って頂いた沢山の仲間達や地域の皆様、先生方を始め学校関係者の皆様のご支援に深く感謝いたします。そして、これからも変わらずに吹奏楽部を応援し続けたいと思います。



カヌー部国体二種目入賞



10月1日(日)〜4日(水)に愛媛県で開催された国民体育大会少年男子カヤックペア500mで瀬上一樹・小畑陽一組が7位入賞、男子カヤックフオア500mで中西諒磨・渋谷篤志・津山泰地・嶋島慶組が8位入賞を果たしました。

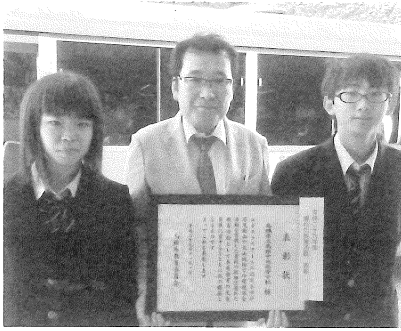
【記録】

- 少年男子カヤックペア500m 瀬上・小畑組 1分47秒913 (7位入賞)
- 少年男子カヤックフオア500m 中西・渋谷・津山・嶋島組 1分38秒690 (8位入賞)



カノ一部感謝状

ユネスコスクール 表彰受賞



石見銀山保全活動等のユネスコ
スクールの活動が「優れた教育活
動」として島根県から表彰されま
した。

大会結果等報告

野球部
〔全国高等学校野球選手権島根大会〕
(2回戦)
島根中央7―6 出雲
(3回戦)
島根中央2―7 開星

カヌー部
〔全国高等学校総合体育大会〕
☆男子カヤック5000m
シングル 中西諒磨
ペア 洪田篤志・瀬上一樹
決勝9位
中西諒磨・洪田篤志
津山泰地・嶋島慶
準決勝5位

女子カヤック5000m
シングル 菅原いおり
準決勝5位

自然科学部
〔全国高等学校総合文化祭自然科学部門〕
研究発表物理部門
―落下する水柱が作る円の研究P
ART2―
小笠原優里・岩佳奈子
文化連盟賞

吹奏楽部
〔全日本吹奏楽コンクール島根県大会〕
高等学校Aの部 銀賞

カヌー部
(9月)
〔日本カヌースプリントジュニアユース小松大会〕
☆男子ジュニアカヤック
シングル 10000m
中西諒磨 B決勝 6位
☆男子ジュニアカヤック
ペア 10000m
瀬上一樹・小畑陽一
決勝 8位

剣道部
〔島根県段別選手権大会〕
増田信大
二段の部ベスト16
二回戦
島根中央8―1 隠岐
(二回戦)
島根中央1―9 開星

カヌー部
〔中国高等学校新人カヌースプリント選手権大会〕
☆男子カヤックシングル
小畑陽一
瀬上一樹
4位

ソフトテニス部
〔島根県高等学校ソフトテニス選手権大会〕
男子3回戦
川邊・重森組
島根中央2―4 出雲工業高

☆女子ジュニアカヤック
ペア 10000m
藤田このみ・渡邊嘉慧
決勝 8位

カヌー部
〔島根県高等学校新人カヌースプリント大会〕
☆男子カヤック
シングル 5000m
1位 瀬上一樹
2位 小畑陽一
3位 松岡信吾

女子カヤック
3位 中田健
2位 小畑陽一
1位 瀬上一樹
2000m
5000m・2000m
1位 藤田このみ

陸上部
〔中国高等学校新人陸上競技大会〕
男子やり投 44m12
上田理央
女子やり投 15位
市原愛美
34m53
9位
バスケットボール部
〔島根県高等学校バスケットボール選手権大会〕
島根中央 45―65 益田翔陽

吹奏楽部
(11月)
〔日本管楽合奏コンテスト全国大会〕
高等学校A部門 優秀賞

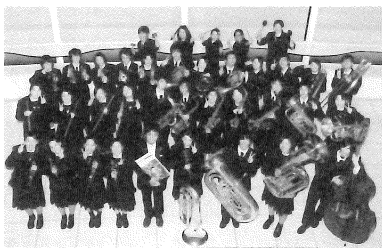
ソフトテニス部
〔島根県高等学校ソフトテニス新人戦〕
女子団体
島根中央0―3 明誠
女子個人戦
(2回戦)
安東芹奈・楸絢賀組
0―4 松江北
上田恵・植田伶香組
3―4 松江農林

カヌー部
〔中国高等学校新人カヌースプリント選手権大会〕
☆男子カヤックシングル
小畑陽一
瀬上一樹
4位

剣道部
〔島根県高等学校剣道選手権大会〕
団体
島根中央×大将戦○出雲工業
個人戦(3回戦) 長谷川聖

カヌー部
〔中国高等学校新人カヌースプリント選手権大会〕
☆男子カヤックシングル
小畑陽一
瀬上一樹
4位

ソフトテニス部
〔島根県高等学校ソフトテニス新人戦〕
女子団体
島根中央0―3 明誠
女子個人戦
(2回戦)
安東芹奈・楸絢賀組
0―4 松江北
上田恵・植田伶香組
3―4 松江農林



〔日本管楽合奏コンテスト全国大会〕
高等学校A部門 優秀賞

バレーボール部
〔島根県高等学校バレーボール選手権大会〕
1回戦
島根中央1―2 出雲農林

自然科学部
〔島根県高文連自然科学部門研究発表会〕
物理部門 優秀賞
〔全国高等学校総合文化祭信州大会へ出場〕

写真部
(12月)
〔島根県高等学校写真展〕
1・2年の部
2席 田中柚菜 「涼」
〔全国高等学校総合文化祭信州大会へ出品〕
奨励賞
石井美羽 「たそがれる人」
石田愛香 「激流」

編集後記

2学期が始まってすぐに文化祭、体育祭と大きな行事が終わると暑い夏が一気に秋模様に変わり、3年生は就職試験・受験など、人生にかかわる大きな転機を迎えています。1、2年生も数年後の自分たちを思い複雑な気持ちになっているのではないのでしょうか。
今学期はPTAの大きな活動としては文化祭でのバザーがあり、多くの保護者の方々にお手伝いをいただき大盛況に終わりました。私個人としては恒例の餅つき大会が体育館の工事のため中止となった事がとても残念でした。

最後になりましたが、今回お忙しい中寄稿してくださった皆様心よりお礼申し上げます。次は卒業をテーマに発行する予定です。
皆様体調には気をつけて寒い冬を乗り切りましょう。